

## 第2回

# 現場に役立つスポーツ医学研究会 サッカー編

～動きを創り、パフォーマンスを上げるための極意～

### プログラム

9:30～	受付開始	
10:30～10:40	開会挨拶	
10:45～12:15	講演	「サッカー選手の体幹・骨盤機能の評価-再教育-トレーニングの新提案 ～ヨーロッパ腰痛ガイドラインの応用から～」 演者:土屋潤二氏(元フェイエノールトFC理学療法士 徒手療法士)
12:15～13:15	昼食・休憩	お弁当をご用意しております。*
13:15～13:45	講演	「メディカル・フィジカルサポート体制の作り方」 演者:金成仙太郎氏(株式会社国際スポーツ医学研究所)
13:55～15:25	講演	「サッカー選手に対するパフォーマンスアップの考え方・具体的方法」 演者:咲花正弥氏(アメリカ代表 フィジカルコーチ)
15:40～16:50	パネルディスカッション	「“動きを創り、パフォーマンスを上げる”ための極意」 パネリスト:土屋潤二氏・咲花正弥氏
16:50～16:55	アンケート	
16:55～17:00	閉会挨拶	
17:00～17:30	展示ブース見学	*試供品提供のあるブースもございます。

※当日の昼食は、近隣に施設が無い為、お弁当をお配り致します。(別途料金はかかりません)  
アレルギー等によりご利用が出来ない場合は、お手数ですがご用意をお願い致します。



Junji Tsuchiya  
土屋 潤二  
(つちや じゅんじ)  
1969年 東京生まれ

サッカー選手として、筑波大・ドイツ・オランダで経験の  
のち、日本人初のオランダ国家医療資格、「フィジオセラピ  
スト」「マニュアルセラピー」の資格を取得。サッカー小野  
伸二選手が所属したオランダ“フェイエノールト”で多く  
の選手をコンディショニングサポートする。帰国後、Jリー  
グの名古屋グランパスエイト、横浜Fマリノスでメディカル  
スタッフとして活躍。ドイツ・サッカー連盟公認のB級指導  
者ライセンスも取得。また、医療分野を飛び出し、スポ  
ーツフィールドで独自のトレーニング方法を展開。発案した  
システムチックなコアトレーニングや、スポーツ選手たち  
へのグロインペイン症候群の独自のアプローチ方法、ヨー  
ロッパ基準の腰痛への施術などには定評がある。



Masaya Sakihana  
咲花 正弥  
(さきはな まさや)  
1974年 東京生まれ

会社員経験ののち、高校生の頃からの夢を追い渡米。  
イサカカレッジ大学院にて「運動生理学」修士課程を  
修了。その後、米国アリゾナ州“アスリート・パフォー  
マンス”社に入社。サッカー界では、2008年欧州選  
手権ドイツ代表、2010年南アフリカW杯ドイツ代表  
フィジカルコーチを歴任。2009年には日本代表フィジ  
カルコーチも務めた。2011年にはアメリカ代表フィジ  
カルコーチに就任する。サッカー界以外にも多岐に渡  
るアスリートのフィジカルコンディショニングをサポー  
ト。米国アリゾナ州フェニックス在住。



Sentaro Kanari  
金成 仙太郎  
(かなり せんたろう)  
1974年 東京生まれ

高校生の頃からアスレティックトレーナーを目指し、国際  
武道大学へ進む。卒業後にはJリーグ名古屋グランパスエ  
イトのメディカルスタッフとして活動する傍ら、理学療法士  
の資格を取得。その後、理学療法士として千葉県勝浦市の  
勝浦整形外科クリニックへ入社。日本体育協会公認アスレ  
ティックトレーナーの資格を取得したのち、サッカー日本代  
表(U15-U22)、プロゴルファーなどへのサポートを行う。  
現在、国際スポーツ医学研究所の代表を務める傍ら、理  
学療法士・アスレティックトレーナーとして、医療機関、ス  
ポーツチーム、プロアスリートのサポート、各種教育機関や  
セミナーなどで理学療法士やトレーナーへの育成活動な  
ど幅広く行う。